

楽しい演奏とごまに

今回は野添コミュニティセンターにて、結成10年を迎える音楽グループ「アンコーラ」さんにお話を伺いました。



▲左から井上秀子さん、桑原麻美さん、多々良草子さん、多々良正徳さん

アンコーラという名称の由来はなんですか？

フランス語のアンコーラを、イタリア語ではもっと向上するという意味からとり、稲美町「夢づくり案内人」に登録する時に付けました。

コンサートの様子を教えてください

鹿の川老人会や放課後教室「のびと」、人権教室やいきいきサロン、「円満寺野外たそがれコンサート」など多いときは週2回のときもありました。

や演歌などジャンルにとらわれず1200曲を超えています。以前は稲美町にも出向き、年間40〜50回は演奏していましたが、今は播磨町内で活動しています。



▲楽しいクリスマス会（中央公民館にて）

メンバーを紹介してください

私、多々良正徳がピアノ・編曲を、多々良草子がアルトサクソフを、井上秀子さんがピアノを、桑原麻美さんがクラリネットをそれぞれ担当しています。現在その4人で都合のいい日をメールでやり取りしながら、練習日を決めて活動しています。演奏曲はクラシック

あえの里には毎月訪問しています。あえの里の歌（しあわせなら手をたたこうの替え歌）もでき、みなさん楽しみに待ってくださっています。定期的に行かせていただくことで全体的にノリも良くなりました。生の音楽は耳だけでなく、皮膚からも伝わります。そして歌や手あそびゲームを通じて一体感が深まり、音楽をきっかけに思い出もよみがえります。

特に12月はクリスマスがあり、演奏会も多く衣装も工夫をしています。着物をリメイクしたものや毛氈をサンタクロースの衣装に活用したり、赤や緑の生地に鈴を付けクリスマススロープを作りました。

必ず演奏しています。

いろいろなイベントをする時の「場」の空気のつかみ方は？

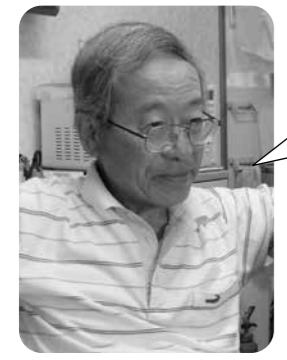
できるだけ楽しい曲や参加型にしたりしています。また、年齢や季節感を考慮したり、その時の話題などを入れていきます。

要望や提案としてメンバーの方々の声を聞かせてください

各「ミセン」にはピアノがほしいと思います。野添「ミセン」は駅前の人から寄贈されたピアノがありますが、ピアノのないところはいつも重たいキーボードを持ち運んでいます。ピアノがあることで演奏家も寄ってきます。あえの里のピアノも無償で提供されたことで実現できました。不用になったピアノを「ミセン」などに寄付していただきたらありがたいですね。「ミセン」の輪が広がると思います。

また、中央公民館に反響板があればもっといい音をみなさんに提供でき、音楽ホールとしても使えるのではと思います。

鉄道唱歌「播磨町巡り編」についてお聞きしました



▲作詞された藤原久也さん

「ふれあいわいわいサロン」でJR加古川線のうたごえ列車に乗った時に、鉄道唱歌（加古川線編）の歌詞をみんなで歌いました。その時に播磨町編も作ってほしいという依頼を受け、播磨町の歴史や名所を巡る播磨町編ができました。



鉄道唱歌 「播磨町巡り編」

作詞 藤原 久也
監修 戎井 皓二
指導 アンコーラ

- 一 多木の鉄道肥料を積み
稲穂の中を土山へ
昔の栄華は花が咲き
しあわせ運ぶ出会い道
- 二 昔人の住みし跡
弥生を偲ぶ考古博物館
古代のロマン語り継ぐ
過去と未来の懸け橋に
- 三 めだかが泳ぎサギ遊び
流れも清き喜瀬川を
下って行けば瀬戸の海
阿倍の浜から阿閉神社
- 四 古宮の浜を漕ぎ出て
異国の船に助けられ
まだ見ぬ文化を
伝え来し
遠い昔のヒコ想う
- 五 今里庄屋の傳兵衛さん
新井で命の水通し
実り豊かな村に変え
守り続けよ
次世代の子に
- 六 弘法大師立ち寄りし
野添の大寺無量壽院
歴史を刻む佇まい
子孫の繁栄祈っている
- 七 古墳時代の邑社会
岩光を治めた豪族の
墓と言われた愛宕塚
今は播磨町の守り神